

～幼児期は手をはなさず～(子育て四訓より)

学校へ行くまでに

小学生になる前に、「これができておくといいね!」という事を、少し紹介したいと思います。

① 早起きを習慣に

早起きができないと、親子とも毎日大変です。近所の小学生が登校する頃には、朝食や身支度を済ませるのがお勧めです。

② 体力をつける

学校まで歩けますか?昔は、3歳の子は3km、6歳の子は6km歩けると言われていました。休日は、親子で体を動かす時間を作って、体力をつけましょう。

③ 好き嫌いを減らす

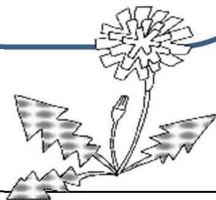
好き嫌いが多いと、給食がストレスになりがちです。「嫌いな物も、少しは食べる」ようにするといいですね。

④ 文章に慣れさせる

文章を理解する力は、短時間では身に付きません。絵本や語り聞かせ・読み聞かせで文章に慣れさせましょう。本は「頭と心の栄養」です。

⑤ 数字に慣れさせる

「今7時よ」「今日は、5日よ」「お皿を4枚出して」と生活の中で数字に慣れさせましょう。10までの数が基本になるので、分からなくても繰り返し言いましょ。トランプの神経衰弱やババ抜きなどで遊ぶのもお勧めです。



家庭教育支援員 清田智子
菊池市教育委員会 生涯学習課
Tel 25-7232

プライベートパーツを教えましょう

世界の国の性教育を始める年齢の平均は、5歳。幼児期は「おしり」などの言葉に抵抗がないので、話しやすい時期です。逆に、大きくなってから性についての話をするのは、ハードルが高くなります。今のうちにプライベートパーツ(口、胸、性器、お尻)について教えておきましょう。

お風呂に一緒に入ったら、プライベートパーツを教えるチャンス。少しずつ、分かり易く、繰り返し話をして下さい。

① 口、胸、性器、お尻は大切なところ。他の人が触ろうとした時、見ようとした時は「いやだ」と言って逃げる事。

② 他の人のプライベートパーツも大切。あなたが見たり触ったりしてはいけない。人があなたに見せようとした時、触らせようとした時も「いやだ」と言って逃げる事。

③ そんな事をされた時、されそうになった時は、相手が誰でもすぐに教える事。

子どもへの性加害者の9割近くは、子どもがよく知っている人と言われます。知り合いにも「いや」と言えるように、普段から「触ったりしない、させない」事が大切です。

保護者は子どものお世話で、子どものプライベートパーツを見たり触ったりする事もありますが「お世話以外では見ない。触らない。自分のプライベートパーツも見せない。触らせない」ようにしましょう。家でふざけて触ったりしていると「いや」と言いにくくなります。

プライベートパーツが映った自分の画像を他人に送ってしまうと、場合によっては勝手に掲載されてしまう事もあります。好きな人にも「送らない」と断れるよう、小さい時から体を大切にすることを教えましょう。それが子どもを守る事に繋がります。